

平成27年度

木の香る淡海の家推進事業実績の概要



県産木材活用推進協議会

平成 27 年度 木の香る淡海の家推進事業実績

- 1) 27 年度事業の概要
- 2) びわ湖材使用量の確認
- 3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数
- 4) 工務店、納材業者 別建築戸数
- 5) 建築面積、単価、建築費等

はじめに

平成 21 年度からスタートした助成金制度による「木の香る淡海の家推進事業」は 7 年目となり、本年度についても、例年のように 4 月 15 日から開始し、5 月 15 日までの期間で 1 回目の募集をおこない、2 回目は 5 月 16 日から 6 月末まで、以降月初めから、月末までの募集を行った。

本年度は、夏場までの応募が低調だったことが響き、申請期限の 11 月末時点で 30 戸相当の予算残となったため、応募要領に基づき申請期限を 12 月 20 日まで延長するとともに、同一業者の申請戸数を 10 戸から 15 戸に増大した結果、最終の第 8 回募集の締め切り 12 月 20 日で合計 112 戸の助成決定戸数となった。

なお、耐震の申請はなかった。

毎回実施される審査会は 7 名（森林組合連合会、建設業協会、建築士会、建築住宅センター、建築組合、木材協会、森林政策課）の審査員で構成され、締め切り後の早い時期に、提出書類を審査し、条件に合致し、不備がなければ助成を決定した。その後、決定者に対して、事業の目的、提出書類、現場確認、注意事項等についての説明会を開催した。

1. 平成 27 年度事業の概要

滋賀県における森林の多面的機能の発揮と「びわ湖材」の普及啓発及び円滑な流通を促進するため、以下の内容で事業を行った。

（助成内容）

区 分	1 戸当たりのびわ湖材の使用量	助成金額	びわ湖材の使用基準
I	7.5 m ³ 以上 15 m ³ 未満	30 万円	構造材 3 m ³ 以上使用
II	15 m ³ 以上	40 万円	構造材 5 m ³ 以上使用

- ・ 1 戸建て専用住宅等（事務所、商店が対象に追加）で、バリアフリーに配慮
- ・ 構造材とは、土台、大引、柱（通、管）、梁（小屋梁含む）、桁、胴差、母屋、棟木、隅木、小屋束、火打、方づえ等とする。
- ・ びわ湖材製品も助成対象とする（針葉樹合板、集成材）
使用基準 区分 I では 1.5 m³を限度（使用量の 1/2 で精算 3 m³×1/2）
区分 II では 3.0 m³を限度（使用量の 1/2 で精算 6 m³×1/2）
- ・ びわ湖材取扱認定業者により、製材された製品であること。
- ・ 応募要領により提出書類を提出すること等

2. びわ湖材使用量の確認

一段階として、提出された申請書には、びわ湖材使用計画書及び貼付図面（平面図、立面図、伏せ図等）に使用箇所、部材名、寸法、規格が分かるようにしておくとともに、納材業者（びわ湖材取扱業者）の納材確約書の添付を義務付けている。

二段階として、上棟等びわ湖材の使用が概ね完了した時点で、現地の確認を協議会が実施している。この時、びわ湖材証明書とともに納品書の提出を義務付けている。

現地確認は、申請書類（主にびわ湖材利用計画書）に基づき実施しているが、申請時と棟上時で使用量が異なる場合は、実際の利用実績を提出させ、それに基づき確認を行っている。

3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数

募集時期は、4月15日から5月15日（1回目）、5月16日から6月30日（2回目）で後は7月、8月、9月、10月、11月、12月の8回

新築等助成（募集期ごとの助成決定内容）

申請期間	使用数量別戸数（戸）			予定補助額 万円	使用県産材量 m ³
	7.5 m ³ ～15 m ³	15 m ³ 以上	計		
4月15日～5月15日	11	8	19	6,500	221
5月16日～6月30日	10	9	19	6,600	251
7月1日～7月31日	1	8	9	3,500	162
8月1日～8月31日	5	6	11	3,900	155
9月1日～9月30日	8	6	14	4,800	168
10月1日～10月31日	1	8	9	3,500	159
11月1日～11月30日	11	6	17	5,700	213
12月1日～12月20日	8	4	12	4,000	165
計	55	55	110	38,500	1,494

建築市町別実績

長 浜 市	37 戸	近江八幡市	6	草 津 市	1
米 原 市	10	守 山 市	4	日 野 町	2
彦 根 市	18	高 島 市	4	愛 荘 町	4
大 津 市	5	東近江市	9	多 賀 町	3
甲 賀 市	6	栗 東 市	1	合計	110

未実施 野洲市、湖南市、竜王町、豊郷町、甲良町

建築場所については、長浜市が 37 戸と 1 市で 3 割を越えており、米原、彦根市を合わせると 5 割を越える実績であった。次いで、東近江市、甲賀市、近江八幡市、甲賀市と続くが、大津市は昨年実績の 13 戸から激減しており、甲賀市も昨年実績より半減となっており、今年度も湖北、湖東中心の実績であった。

4) 工務店（建築戸数）、納材業者（納入戸数）

工務店		納材業者	
	単位：戸		単位：戸
内保製材(株)	12	スンエン長浜	14
(株)マルト	8	内保製材(株)	12
(株)安田工務店	5	滋賀原木	10
(株)生厚ハウス	4	丸松木材(株)	10
(有)瀧澤材木店	4	甲賀林材(株)	8
(株)丸正	3	丸和産業(株)	6
(株)平野住建	3	鳥居木材(株)	5
中尾木材工業(株)	3	下村木材(株)	5
		(有)瀧澤材木店	4
		(株)伊藤源	3
		滋賀中央森林組合	3
		中尾木材工業(株)	3
		(株)丸正	3
その他(1戸～2戸)	68	その他(1戸～2戸)	24
計	110戸	計	110戸